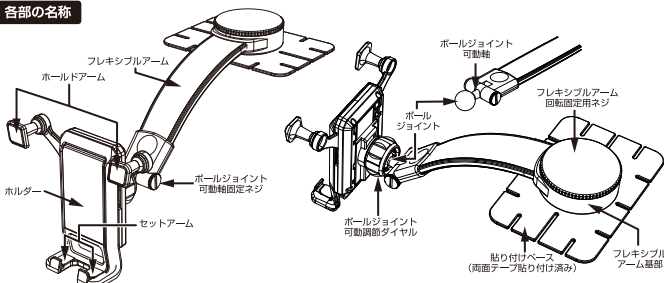


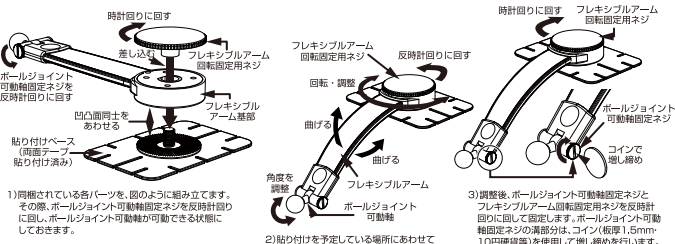
自重式スマホホルダー
フレキシブルアーム貼り付け



各部の名称



組み立て・取り付け方法



1) 同梱されている各パーツを、図のように組み立てます。
 その際、ボールジョイント可動軸固定ネジを反時計回りに回し、ボールジョイント可動軸が可動できる状態にしておきます。

2) 貼り付けを予定している場所にあわせてフレキシブルアームを曲げ、ボールジョイント可動軸の角度を調整します。フレキシブルアーム回転固定用ネジを反時計回りに回して緩めることで、フレキシブルアームの基部と回転調整が可能なア

※中台紙裏面に「取り付け位置について」の記載があります。また、下記「取り付け位置について」のご注意もあわせてご参照いただき、運転の妨けにならない位置をご確認のうえ、取り付け位置を決定してください。

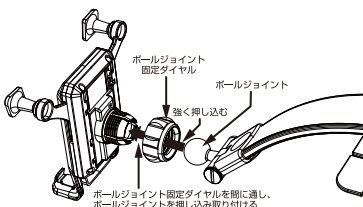
3)調整後、ボールジョイント可動軸固定ネジとフレキシブルアーム回転固定用ネジを反時計回りに回して固定します。ボールジョイント可動軸固定ネジの溝部分は、コイン(板厚1.5mm・10円硬貨等)を使用し、(増)減めを行います。

剥離紙を剥がす

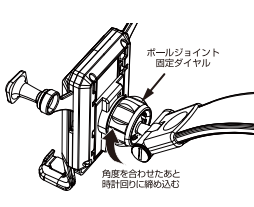
5) 貼り付けベース裏面の両面テープ剥離紙を剥がし、
取り付け位置へしっかりと貼り付けます。
※貼り付け後24時間は貼り付け強度が完全ではない
ため、この間にスマートフォンをホールドした場合、
脱落するおそれがあります。



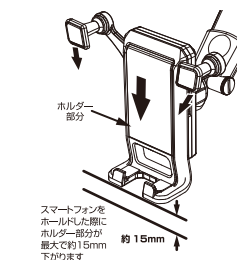
4)本製品を貼り付ける場所の汚れを拭き取り、油分を中性洗剤等で確実に脱脂してください。
※油污や油分等で汚れていると確実な吸着ができません。



6)本製品のボールジョイント固定ダイヤルを取り出し、図を参考に組み立てます。
※ボールジョイントは強く押し込むことで取り付けができます。



7) ボールジョイント固定ダイヤルを緩めて、お好みの角度に合わせたあと、時計回りに締め込みます。



8)最後に取り付けた状態や、取り付け場所周辺を再度ご確認ください、必要に応じて各の位置・角度を微調整いただき、取り付け完了となります。

取り付け位置についてのご注意

※スマートフォンをホルドした際に、ホルダー部分が最大で約15mm下がります。必ずホルダー部分が下った状態で取り付け場所周辺にスペースがあることを確認してください。

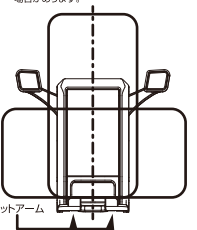
※本製品にスマートフォンをホルドした状態で運転の妨げにならない位置かどうか確認してください。

※前方に傾けた状態での固定は、スマートフォンが落下するおそれがあるためおやめください。

※本車、合成皮革、布地、ウレタン等、曲率の大きい曲面、大きな凹凸のある面等のダッシュボードには取り付けができません。

使用方法

- セッティングの上へ静かにスマートフォンを置きます。
 - ホルダー部分が、スマートフォンの自重で下がり、アーム部分が可動してスマートフォンを固定します。
 - 縦置き/横置きともに、スマートフォンをセッティングの上に置くだけでホルダーできます。
- ※スマートフォンをホルダーする際、以下の図のようにセッティングの中心付近とスマートフォンの中心をあわせるように置いてください。中心からずれて置いた場合、うまくホルダーされない場合があります。



ご注意

[illegible]

ホールド可能なスマートフォンの

縦置き時	幅 約 65mm 約 85mm
横置き時	高さ 約 65mm 約 80mm
重量	約 130g 約 250g まで
厚み	約 12mm まで

※130g 以下の場合は、自重が
不十分となりホルダーが動
作せず完全にホールドできな
い場合があります。

※ 130g 以下の場合、自重
不十分となりホルダーが
せず完全にホールドでき
場合があります。

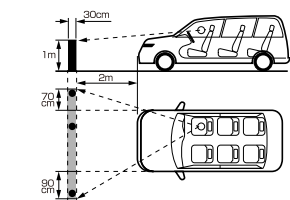
取り付け位置について

国土交通省の定める保安基準に適合させるため、下図のように、運転者の視界を妨げないように本製品を取り付けてください。また、フロントガラス、側面ガラスへの取り付けは、保安基準に不適合となりますので、絶対におやめください。

下図は右ハンドル車の例です。左ハンドル車の場合、左右逆にになります。

前方視界基準

＜基準概要＞
自動車の前方 2m にある高さ 1m、直径 30cm の円柱を鏡等を用いず直接確認できること。



直前直左視界基準

＜基準概要＞
自動車の前面及び左側面（左ハンドル車にあっては右側面）に接する高さ 1m、直径 30cm の円柱を鏡等を用いず直接確認できること。

